株式会社 エム・システム技研

共通機器

取扱説明書

クランプ式パルス検出器

形 式
CLSP

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・クランプ式パルス検出器 .....1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●供給電源

・許容電圧範囲、消費電力
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
定格電圧 12 VDC の場合
12 V DC ± 10 %、最大 5 mA

●取扱いについて

・取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

●設置について

・屋内でご使用下さい。
・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
・周囲温度が 0 ～ 55℃を超えるような場所、周囲湿度が 80 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命･動作に影響しますので避けて下さい。

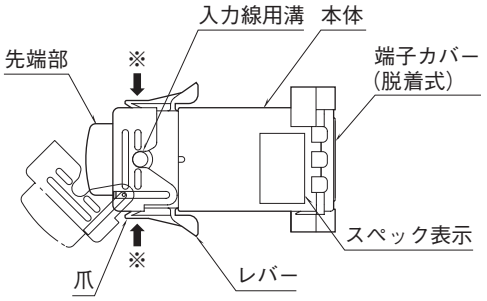
●配線について

・配線（電源線、入力信号線、出力信号線）は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

各部の名称

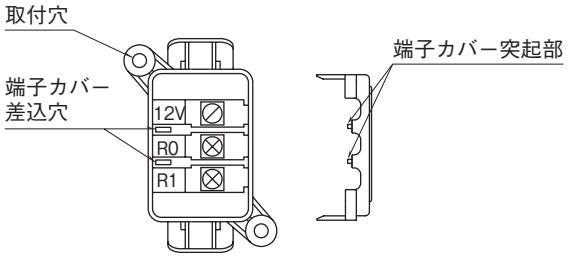


※、結束バンド固定位置

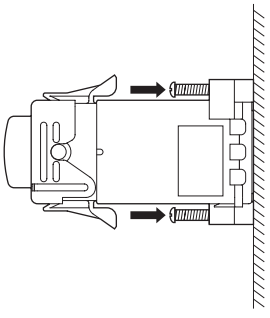
取付方法

■本体の取付方法

①端子カバーを取外し、端子接続図に従い配線して下さい。ケーブルの差込方向にご注意下さい。(配線の項をご参照下さい。)
②端子カバーの突起部を端子カバー差込穴に合わせて取付けて下さい。端子カバーの向きにご注意下さい。



③取付穴を利用し、ねじで本体を壁に固定して下さい。



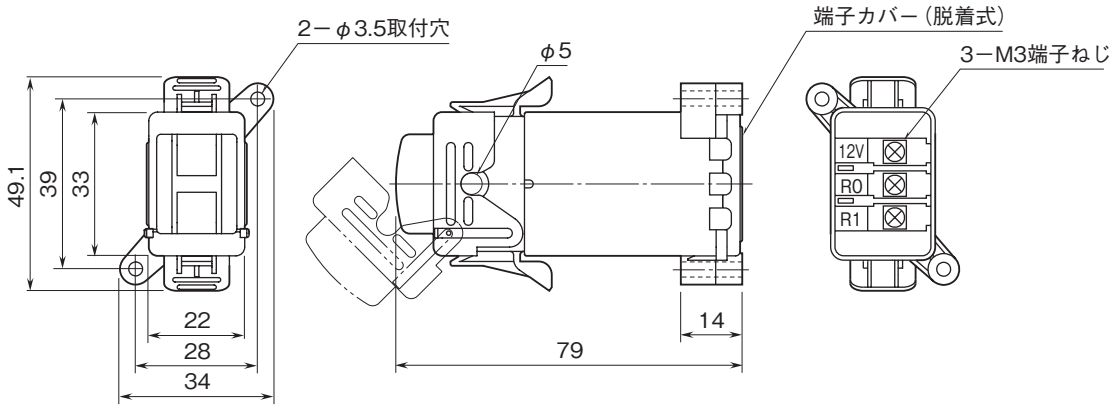
■入力線の取付方法

①レバーの両側を押し、爪を外してから先端部を引いて下さい。
②入力線を溝に通して下さい。
③先端部を元に戻してから、レバーを結束バンドなどで固定して下さい。

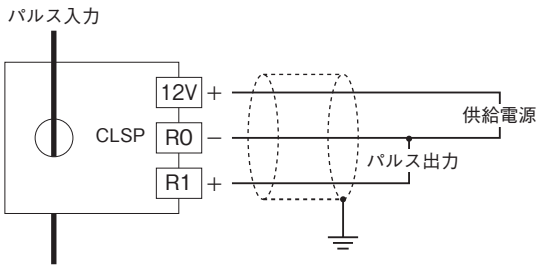
接　続

各端子の接続は下図を参考にして行って下さい。

外形寸法図（単位：mm）



端子接続図



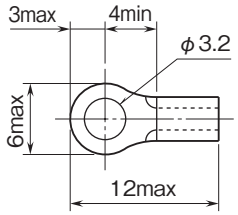
配　線

■圧着端子

圧着端子は、下図の寸法範囲のものを使用して下さい。また、Y形端子を使用される場合も適用寸法は下図に準じます。

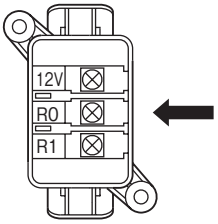
推奨圧着端子：R 1.25 － 3（日本圧着端子製造、ニチフ）
（スリーブ付圧着端子は使用不可）

・適合電線：0.3 ～ 0.75 mm^2



■ケーブルの挿入方向

下図の方向に従ってケーブルを接続して下さい。
接続後、端子ねじを確実に締付けて下さい（締付トルク 0.5 N・m）。



点　検

①端子接続図に従って結線がされていますか。
②供給電源の電圧は正常ですか。
　端子番号 12 V － R0 間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。
③入力信号は正常ですか。
④出力信号は正常ですか。

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器＜エム・レスタシリーズ＞をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。